



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治版



平成23年11月1日号

発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

11月号
2011年
No.107

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

アフリカ開発会議をふたたび横浜で！ 超党派の議員連盟で誘致を進めます



2013年に日本で開かれる第5回アフリカ開発会議（TICAD）の横浜誘致を進める超党派の議員連盟が発足しました。横浜市選出の国会議員が参加し、民主党の田中慶秋衆議院議員が会長に就任、松本純は副会長を務めることになりました。

アフリカ開発会議は5年ごとに開催され、前回は2008年5月に横浜市で開催されました。このときはアフリカ51カ国から国家元首・首脳級の要人41人を含む各国代表团や開発パートナー諸国、国際機関、民間セクターの関係者ら計3,000人以上が参加し、当時、わが国外交史上最大規模の国際会議として注目されました。

その開催は横浜に直接的な経済効果だけではなく、大きな文化的な波及効果ももたらしました。アフリカ支援キャンペーン「ヨコハマ・フォー・アフリカ」では売上げの一部750万円をアフリカに寄付。アフリカ学生のホームステイプロジェクトも行われ、55の市立小学校では駐日アフリカ大使を招いて交流するなどの「一校一国」運動を、市営地下鉄40駅では参加国を紹介する「一駅一国」運動を展開しました。

アフリカ開発会議はまた、「コンベンション・シティ横浜」を世界に発信する絶好の機会となりました。参加者に直接横浜に触れてもらったという効果はもちろんですが、開催期間中に「横浜発」のニュースが世界を駆け巡ったのです。2010年11月にオバマ米大統領や胡錦濤中国国家主席らが出席して、横浜でAPEC（アジア太平洋経済協力）首脳会議が開かれたのも、アフリカ開発会議の成功があったからです。

APEC横浜開催は麻生内閣時代に決定されましたが、私は当時、内閣官房副長官として調整にあたりました。大規模な国際会議開催は、開港以来世界に開かれた港町・横浜の経済的・文化的活性化のバネであり、最大の目標はサミット（主要国首脳会議）です。そのためにも地元が一丸となって2回目のアフリカ開発会議開催に取り組まなくてはなりません。与党・野党の立場は逆転しましたが、誘致に全力を尽くします。

いま地域で
(人・まち・出来事)

もう一度、子どもたちが遊べる川に！

ふるさと侍従川に親しむ会会長 相川 澄夫さん（金沢区）

金沢区の朝比奈の森を源とし本流の大道地区を通り平潟湾に注ぐ全長約3キロの小さな川、それが侍従川^{じじゅうがわ}です。地域の開発が進んで川が汚れ昆虫や水生動物が少なくなり、相川さんが遊んだ昔の面影がなくなりつつあることから、「ふるさとの川をもう一度」と会を結成したのが平成7年6月。相川さんが大道小学校のPTA会長時代につくった「ふるさと大道の生き物に親しむ会」がその前身です。その当時、横浜固有の「黒めだか」の繁殖に成功しました。現在会員は約100人。月1回の侍従川の清掃をはじめ、大道小の児童がつくった葦舟の乗船会やいかだ下りなど、さまざまな交流活動を展開しています。「昔からの風景や自然、生き物を次世代につないで、自分たちが住む街を誇れるようがんばります」という相川さん。一部氾濫の危険がある場所を行政が整備する計画がありますが、ぜひ自然環境と共生できる整備にしてほしいですね」と熱望しています。



侍従川の魅力を伝える相川会長

松本議員の活動記録

2011年
9～10月

《9月》

- 23日●神興保存会濱睦会長・故亀井勝治氏お別れ会
- 25日●富岡八幡宮秋季大祭（湯立て神楽）
- 29日●本会議（原発事故調査委員会設置法）

《10月》

- 3日●松本純君を励ます会
●実践倫理宏正会東京地区秋季講演会
- 6日●平成23年度全国歯科医師国民健康保険組合連合会通常総会
- 7日●柳通り流し芸
- 8日●京急幼稚園運動会

- 9日●中区民祭り震災復興支援ハローよこはま2011
●日本薬剤師会「東日本大震災復興祈念式典・シンポジウム」
- 11日●一般社団法人全国配置薬協会総会
- 14日●神奈川県看護連盟国会見学
●国税労組、東京国税推薦状授与
- 15日●金沢まつりいきいきフェスタ
●元町クラフトマンシップストリート・フードフェア
- 16日●日本薬局協会の第61回関東甲信越合同大会・とちぎ大会
●榊原光利先生旭日双光章受賞祝賀会



10/5 松本貞夫氏瑞宝準光章を祝う会
50年以上も消防団活動に尽力された松本貞夫さん、おめでとうございます



10/9 中区民祭りハローよこはま
震災復興支援を目的に各団体が95の
ブースやテントで趣向を凝らしました



10/11 第75回早朝駅頭演説会
京急能見台駅にて震災復興対策の第三
次補正予算について訴えました



10/15 金沢まつりいきいきフェスタ
恒例の金沢まつり・いきいきフェスタ。
各団体ブースへ激励のご挨拶を！

「みんなの声」お寄せください ●くらしを豊かにする「政治」を感じていますか？ あなたの「政治」に対する想いをお寄せください

▷メール info-matsumoto@jun.or.jp ▷グリー http://gree.jp/matsumoto_jun

▷ツイッター Twitterでjunmatsumoto411をフォローしてください！→ http://twtr.jp/user/junmatsumoto411/follow

永田町日記 被災地で活動した2,062人の薬剤師さん、ありがとう！

日本薬剤師会の「東日本大震災復興祈念式典」が10月9日、仙台で開かれました。仙台では本来、学術会議が開かれる予定でしたが、未曾有の大災害で中止。被災から7カ月たったこの日、祈念式典と形を変えてシンポジウム・夕べの集いとともに開催されたのです。式典では被災地で支援活動に参加した薬剤師の代表に感謝状が贈られました。

薬剤師会では発災直後から4カ月間に被災した3県を除く44都道府県から2,062人（のべ人数では8,378人）の薬剤師を岩手、宮城、福島、茨城4県の被災地に派遣しました。薬剤師が特に感謝されたのは、全国から集まった医薬品・衛生用品の仕分け。山のように積まれた医薬品も薬剤師がいなければ、それぞれの効果を即時に発揮できなかったでしょう。彼らの活動を、私も薬剤師のひとりとして誇りに思います。その気持ちを夕べの集いでのあいさつで伝え、被災地で活躍された皆さんに感謝しました。（純）



岩手県陸前高田市長部地区避難所にて